

中間建雄美君 長谷川博一さんの卓話楽しみに。

石川友意君 長谷川さんの卓話期待して!!

赤塚正樹君 長谷川さんの卓話を楽しみにしています。

米山忠俊君 26日新年会に100%出席ぜひ御協力お願い致します。出席委員会より。

ロータリー財団：

佐藤文夫君 坂本さんが発表するという事で強制されました。

山崎勲君

山本充君

長谷川恵慈君 町には雪が無くよろこんでいましたが、山にも無く、さんざんなスキー旅行でした。

今井克義君 BOXに協力

梨木建夫君 坂本さんとテーブルが一緒……皇太子妃決定おめでとうございます。

坂本勝司君 財団に協力して

柄沢憲司君 新入会員の南部さんを遅ればせながら歓迎して。

卓 話： 「使って良かったもの」 長谷川博一さん



先回の一月十二日の例会を欠席いたしましたので私にとりまして今年のはじめての例会です。あらためましておめでとうございます。

さて、今日は、私にとって二回目の卓語です。最初の時は、自己紹介を中心に話しをさせていただきました。

今回は、何を話しをさせていただこうと考えましたが、やはり、私の商売に関係していることで、こんな材料をあんな風に使って非常に良かった、又、こんな風に使うと非常に良いのではないかということについて話しをさせていただき、いくらかでも皆様の参考になればと

思います。

ただ、そんなに専門的なことを話すつもりもありませんので、皆さんすでにご存知のことでもいいあると思いますのでその点、おゆるしいただきたいと思います。

私の会社はロータリーの職業分類によりますと「建築建具サッシ」となっています通りサッシとシャッターの販売と工事を中心に商売をやらせていただいております。建物のサッシ、シャッターは勿論ですが、外壁の金属パネルもよくやります。新幹線燕三条駅の外壁は金属ホーローパネルですが、駅の全長は四百五十メートルあります。その燕側半分は当社で施工したものです。私が思いますに、いろいろな建材が外装材として出ておりますが、いちばん耐久性がすぐれ、くさりにくいものが、あのホーローパネルだと思います。もう十年たちましたが、ビクともしません。たぶん40年50年、いやそれ以上楽にもつと思います。

もう二十年もこの業界でいろいろな建材を見てまいりましたが、一番と思います。アルミよりも、ステンレスよりもよくもちます。そして頑丈です。なんと電気ドリルで穴をあけようとしてもドリルの先のほうがだめになるばかりで刃が立ちませんでした。住宅用のホーローバスなんかとホーローの厚さが違うのかもしれませんが。ということでまず第一は金属ホーローパネルということです。ただ、どんな建材もそうですが、汚れはつきます。でもホーローの場合は、汚れさえおとせば、いつでも新品同様というのが良い点です。色も自由にえらべますので、その事もたのしい点です。最近石の模様をデザインした石ミカゲという色もあります。加工もいろいろと可能で平面、アール面どちらも自由にできます。本当にホーローパネルという商品はすごい商品だと今でも思っております。新幹線駅や地下鉄の内壁や柱の仕上にもよく使われています。次は、断熱という点で考えてみたいと思います。断熱、熱をさえぎる、つまり断熱材ということですが、実はおとし、92年に当社の事務所倉庫を全面改装、改築工事をいたしました。建てまして二十二年たっていました。前の建物の時は断熱などにも考えなかったものですから、夏は暖房、冬は冷房とまではいきませんが寒さに耐えていました。それに国道ぞいなものですから、特に信号より百メートルのところに会社があるものですから車の騒音が非常にうるさく、電話で話しするにも不便なほどでした。当時はまだスチールサッシがようやくアルミサッシにかわってきはじめた頃でしたので断熱とか防音とかいうことはほとんど考えなかった頃でした。そのうち事務所を建て替えた時にはクーラーを入れようと思っていましたので、クーラーも入れず、汗とほこりっぱい中でなんとかしのいできました。前の事務所は平屋で屋根がカラー鉄板でしたので、暑さはよりきびしいものでした。冬は冬で、熱が窓や壁から逃げるものですから、大きなジェット噴射式の石油ストーブでしたので油をいっぱいくうわりに土間と壁側が大変、冷えて我慢の毎日でした。だから丈談でなく、夏は暖房、冬は少し暖房というありさまでした。そこで今度事務所を建て直す時には、断熱について万然なものを作ろうと考えていました。それには窓だけの問題ではありません。建物全体に係わることです。まず床の断熱には土間コンクリートの下に発泡スチロールをしきました。天井は、天井材の上にジェット・ファイバーという綿のような断熱材を約十センチぐらい吹きました。これで床と天井は万然です。次は壁です。外壁は発泡スチロールが裏打されているカラー鉄板を使いましたが、もうひと工夫しました。柱にまず断熱材のシージングボードを張り付け、その上に胴縁を打ちつけてその外側に外壁板を張るようにしました。柱と柱の空間には断熱マットを張りました。つまり空気層を柱の所と胴縁の所に二層、作った点です。またシージングボードと断熱マットを二重に使った点です。内壁はプラスターボードと表具です。これはごく一般的だと思います。ということで、壁も万然を期しました。残るは窓です。断熱サッシおよび防音にもしたいわけです。普通アルミサッシで断熱サッシを作るには枠を外側と内側に分けて作り、その中間に特殊プラスチックを入れて接着して断熱サッシを作ります。特殊プラスチックが熱を伝えないので、断熱になる原理です。ガラスを入れる障子も同じように作ります。もうひとつの方法はサッシそのものを二重に使うやり方です。そ